



|                     |  |    |      |           |      |                          |
|---------------------|--|----|------|-----------|------|--------------------------|
| 2 改質アスファルトシート防水     | 防水層の種類 (9.3.2、3)(表9.3.1~3)   | 種類 | 施工箇所 | 断熱材       | 防湿層  | 仕上塗料                     |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>AS-T1</li> <li>AS-T2</li> <li>AS-T3</li> <li>AS-T4</li> <li>AS-J1</li> </ul>  |    |      |           |      | 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の仕様   |
| 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 | 防水層の種類 (9.4.2~4)(表9.4.1~3)   | 種類 | 施工箇所 | 絶縁層シートの材質 | 仕上塗料 |                          |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>S-F1</li> <li>S-F2</li> <li>S-M1</li> <li>S-M2</li> <li>S-M3</li> <li>SI-F1</li> <li>SI-F2</li> <li>SI-M1</li> <li>SI-M2</li> </ul> |    |      |           |      | 種類・使用量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 |
| 4 塗膜防水              | 防水層の種類 (9.5.3)(表9.5.1~2)   | 種類 | 施工箇所 | 仕上塗料      | 保護層  |                          |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>X-1</li> <li>X-2</li> <li>Y-1</li> <li>Y-2</li> </ul>   |    |      |           |      | 種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様       |
| 5 ケイ酸系塗布防水          | 防水層の種類 (9.6.1、3、4)(表9.6.1、2)   | 種類 | 施工箇所 | 種類        | 施工箇所 |                          |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>C-U1</li> <li>ELVビッド</li> <li>C-UP</li> </ul>   |    |      |           |      | 種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様       |

|              |   |  |
|--------------|---|--|
| 6 シーリング      | 下地以外は、標準仕様書9.7.1による (9.7.2、3、5)(表9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合はシーリングは17章による | シーリング材の種類 (記号)                         |
|              | シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(ア)~(ウ)による  |  |
| 7 防水工事施工     | 注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。            | ※設置する(ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入) |
|              | ⑩ 1 施工 (10.1.3、5)   | ⑩ 2 石材等 (10.2.1、3)(表10.2.1、2)          |
| 8 外壁湿式工法     | 天然石 (10.2.1、3)(表10.2.1、2)   | 天然石                                    |
|              | テラズブロック   | テラズブロック                                |
| 9 内装湿式工法     | テラズタイル  | テラズタイル                                 |
|              | 取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料 ※専門工事業者の指定する製品                               |  |
| 10 乾式工法      | 受金物 (10.2.2、3)(10.4.2、3)  | 受金物                                    |
|              | アンカーの材質及び寸法 ※SS400 M12  | アンカーの材質及び寸法                            |
| 11 内装空精工法    | 目地  | 目地                                     |
|              | 取付け方式 (10.2.2、3)(10.5.2、3)(表10.2.4)   | 取付け方式                                  |
| 12 床及び階段の石張り | 床石張りの裏面処理 (10.6.2、3)  | 床石張りの裏面処理                              |
|              | 目地  | 目地                                     |

|                |   |                           |
|----------------|---|---------------------------|
| 7 アーチ、上げ裏等の石張り | 取付け工法 (10.2.2)(10.7.1、2)                      | 取付け工法                     |
|                | 取付け金物 (10.2.2)(10.7.1、2)                      | 取付け金物                     |
| 8 笠木、甲板等の石張り   | 取付け工法 (10.2.2)(10.7.1、3)                      | 取付け工法                     |
|                | 取付け金物 (10.2.2)(10.7.1、3)                      | 取付け金物                     |
| 11 タイル工事       | 1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地                            | 位置 ※標準仕様書 表11.1.1による      |
|                | 2 セメントモルタルによるタイル張り                            | タイルの形状・寸法等 (11.2.2、3、7)   |
| 12 木工事         | 1 表面仕上げ (12.1.4)                              | 表面仕上げの種類                  |
|                | 2 製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1) | 製材の種類                     |
| 13 造作用集材材      | 「製材の日本農林規格」による製材                              | 「製材の日本農林規格」による製材          |
|                | 「製材の日本農林規格」による造作用集材材                          | 「製材の日本農林規格」による造作用集材材      |
| 14 造作用単板積層材    | 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材                     | 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 |
|                | 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材                     | 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 |
| 15 合板等         | 「合板の日本農林規格」による普通合板                            | 「合板の日本農林規格」による普通合板        |
|                | 「合板の日本農林規格」による構造用合板                           | 「合板の日本農林規格」による構造用合板       |
| 16 造作用単板積層材    | 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材                     | 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 |
|                | 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材                     | 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 |
| 17 合板等         | 「合板の日本農林規格」による普通合板                            | 「合板の日本農林規格」による普通合板        |
|                | 「合板の日本農林規格」による構造用合板                           | 「合板の日本農林規格」による構造用合板       |

|             |                           |                           |
|-------------|---------------------------|---------------------------|
| 18 造作用集材材   | 「製材の日本農林規格」以外の製材          | 「製材の日本農林規格」以外の製材          |
|             | 「製材の日本農林規格」による造作用集材材      | 「製材の日本農林規格」による造作用集材材      |
| 19 造作用単板積層材 | 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 | 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 |
|             | 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 | 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 |
| 20 合板等      | 「合板の日本農林規格」による普通合板        | 「合板の日本農林規格」による普通合板        |
|             | 「合板の日本農林規格」による構造用合板       | 「合板の日本農林規格」による構造用合板       |

Table with 4 columns: ① 合板の日本農林規格による特殊加工化粧合板, ② パーティクルボード, ③ MDF, ④ 接合具等, ⑤ 防虫・防蟻・防虫処理, ⑥ 内部間仕切り、窓、床等の木材, ⑦ 長尺金属板, ⑧ 折板, ⑨ 粘土瓦葺, ⑩ とい

Table with 4 columns: ① ステンレスの表面仕上げ, ② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理, ③ 鉄鋼の亜鉛めっき, ④ 軽量鉄骨天井下地, ⑤ 金属成形板張り, ⑥ アルミニウム製塗布, ⑦ 手すり及びタラップ, ⑧ 手すり及びタラップ, ⑨ 下地, ⑩ モルタル塗り, ⑪ セルフレリング材塗り, ⑫ 仕上塗り

Table with 4 columns: ① 厚付け仕上塗材, ② ALCLパネルの形状, ③ マスチック塗材塗り, ④ セッコウプラスター塗り, ⑤ ドット/ブラスター塗り, ⑥ しっくい塗り, ⑦ こまじり塗り, ⑧ ロックウール吹付け, ⑨ その他, ⑩ 防火戸, ⑪ 見本の製作等, ⑫ 防犯建物部品, ⑬ アルミニウム製建具, ⑭ 網戸等, ⑮ 樹脂製建具, ⑯ 鋼製建具, ⑰ 鋼製軽量建具, ⑱ ステンレス製建具

Table with 4 columns: ① 木製建具, ② 建具用金物, ③ 錠, ④ 自動ドア開閉機構, ⑤ 自動ドア, ⑥ 引き戸用開閉装置, ⑦ 引き戸用開閉装置, ⑧ 引き戸用開閉装置, ⑨ 引き戸用開閉装置, ⑩ 引き戸用開閉装置, ⑪ 引き戸用開閉装置, ⑫ 引き戸用開閉装置, ⑬ 引き戸用開閉装置, ⑭ 引き戸用開閉装置, ⑮ 引き戸用開閉装置, ⑯ 引き戸用開閉装置, ⑰ 引き戸用開閉装置, ⑱ 引き戸用開閉装置, ⑳ 引き戸用開閉装置, ㉑ 引き戸用開閉装置, ㉒ 引き戸用開閉装置, ㉓ 引き戸用開閉装置, ㉔ 引き戸用開閉装置, ㉕ 引き戸用開閉装置, ㉖ 引き戸用開閉装置, ㉗ 引き戸用開閉装置, ㉘ 引き戸用開閉装置, ㉙ 引き戸用開閉装置, ㉚ 引き戸用開閉装置, ㉛ 引き戸用開閉装置, ㉜ 引き戸用開閉装置, ㉝ 引き戸用開閉装置, ㉞ 引き戸用開閉装置, ㉟ 引き戸用開閉装置, ㊱ 引き戸用開閉装置, ㊲ 引き戸用開閉装置, ㊳ 引き戸用開閉装置, ㊴ 引き戸用開閉装置, ㊵ 引き戸用開閉装置, ㊶ 引き戸用開閉装置, ㊷ 引き戸用開閉装置, ㊸ 引き戸用開閉装置, ㊹ 引き戸用開閉装置, ㊺ 引き戸用開閉装置, ㊻ 引き戸用開閉装置, ㊼ 引き戸用開閉装置, ㊽ 引き戸用開閉装置, ㊾ 引き戸用開閉装置, ㊿ 引き戸用開閉装置



ユニット及びその他工事

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13) and Description/Requirements (e.g., フリーアクセスフロア, 2 可動開仕切, 4 トイレブース, 5 障除り止め, 6 手すり, 7 黒板及びホワイトボード, 8 鏡, 9 表示, 10 壁突ライニング, 11 ブラインド, 12 ロースクリーン, 13 カーテン)

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30) and Description/Requirements (e.g., 14 カーテンレール, 15 ブラインドボックス及びカーテンボックス, 16 天井点検口, 17 床点検口, 18 耐震リット, 19 止水板(防水板), 20 エキスパンション・ジョイント金物, 21 くつぎマット, 22 流し台ユニット, 23 旗竿, 24 旗竿受金物, 25 車止めさく, 26 フェンス, 27 プレキャストコンクリート, 28 間知石及びブロック, 29 網製看板及び物品架, 30 扉内扉示板)

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 31, 32, 33, 34, 21, 22, 3, 4) and Description/Requirements (e.g., 31 洗面カウンター, 32 防塵網設置, 33 扉外扉示板, 34 収納家具, 21 屋外雨水排水, 22 排水工事, 3 舗装工, 4 グレーテング・鋼製)

Table with 2 columns: Item No. (e.g., 1, 2, 3, 4, 5) and Description/Requirements (e.g., 1 路床, 2 路盤, 3 アスファルト舗装, 4 コンクリート舗装, 5 カラー舗装)



透水性アスファルト舗装 G  
ポラスアスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13)  
配合(表22.7.1)

| ふるいの呼び名    | ふるいの通過質量百分率 (%) |         |
|------------|-----------------|---------|
|            | 車路、駐車場          | 歩行者用道路  |
| 19mm       | 100             | 100     |
| 13.2mm     | 90~100          | 95~100  |
| 4.75mm     | 11~35           | 20~36   |
| 2.36mm     | 10~20           | 12~25   |
| 300μm      | —               | 5~13    |
| 75μm       | 3~7             | 3~6     |
| アスファルト (%) | 4~6             | 3.5~5.5 |

基準値(表22.7.2)

| 項目             | 基準値                   |        |
|----------------|-----------------------|--------|
|                | 車路、駐車場                | 歩行者用道路 |
| 最大粒径 (mm)      | 13                    | 13     |
| 安定度 (kN)       | 3.43以上3.0以上           | —      |
| フロー値 (1/100cm) | —                     | 20~40  |
| 空隙率 (%)        | 20程度                  | 12以上   |
| 動的安定度 (回/mm)   | 3,000以上               | —      |
| 透水係数 (cm/s)    | 1×10 <sup>-2</sup> 以上 |        |

試験  
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない  
不織布(ジオテキスタイル)  
敷設位置 ・フィルター層と路床の間に敷設 ・図示  
舗装の平坦性 ・著しい不陸がないもの

① 透水性コンクリート舗装 ※図示 (22.5.2~4、6)  
コンクリート舗装に対する基準値

| 項目          | 基準値                   |
|-------------|-----------------------|
| 最大粒径 (mm)   | 13                    |
| 空隙率 (%)     | 20以上                  |
| 透水係数 (cm/s) | 1×10 <sup>-2</sup> 以上 |
| 目地の間隔       | 厚層の20倍程度              |

構成、厚さはコンクリート舗装による

不織布(ジオテキスタイル)  
敷設位置 ・フィルター層と路床の間の敷設 ・図示

透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3)  
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による

透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3)  
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

半たわみ舗装(車路、駐車場)の構成及び厚さ ・図示(22.3.2、3、5)(表22.3.1)

| 区分 | 種類                     | 厚さ(mm) |
|----|------------------------|--------|
| 表層 | 半たわみ舗装用アスファルト混合物I型(13) | 40     |
| 基層 | 再生粗粒度アスファルト混合物(20)     | 40     |

試験  
半たわみ舗装用アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

材料  
浸透用セメントミルクの標準的な性状

| 項目             | 性状       | 試験方法             |
|----------------|----------|------------------|
| フロー値(フロー)砂     | 10~14    | 舗装調査・試験法便覧(D041) |
| 圧縮強度(7日養生) MPa | 9.5~29.4 | JIS R 5201       |
| 曲げ強度(7日養生) MPa | 2.0以上    | 舗装調査・試験法便覧(D042) |

配合  
半たわみ舗装用アスファルト混合物の標準配合

| ふるいの呼び名     | ふるいの通過質量百分率 (%) |
|-------------|-----------------|
| 19.0 mm     | 100             |
| 13.2 mm     | 95~100          |
| 4.75 mm     | 10~35           |
| 2.36 mm     | 5~22            |
| 600 μm      | 4~12            |
| 300 μm      | 3~12            |
| 75 μm       | 1~6             |
| アスファルト量 (%) | 3~4.5           |

半たわみ舗装用アスファルト混合物のマッシュ安定度試験に対する基準値

| 項目                      | 基準値    |
|-------------------------|--------|
| 密度 (g/cm <sup>3</sup> ) | 1.9以上  |
| 安定度 (kN)                | 2.94以上 |
| フロー値 (1/100cm)          | 20~40  |
| 空隙率 (%)                 | 20~28  |
| 突固め回数 (回)               | 50     |

施工  
アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。  
浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。  
(1) 浸透用セメントミルクの搬送は、一般に移動式ミキサーによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。  
(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下にならなければならない。その場合、舗装体にこみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に蒸気ローラー等により行う。  
(3) セメントミルクが舗装体表面に浸透していると、表面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面のすべり抵抗値が規定値にセメントミルクをゴムローラー等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするときは、磁砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットプラスト等で表面を粗くすることが必要である。  
(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。  
セメントミルクの種類 養生期間  
普通タイプ 約3日  
早強タイプ 約1日  
超速強タイプ 約3時間  
(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはこみ、肥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。

試験  
締固め度 標準仕様書22.4.2(2)による  
舗装厚さの許容差 ・標準仕様書 22.4.2(3)による  
舗装の平坦性 ・通行の支障となる水たまりを生じない程度

弾性舗装(歩行者用道路)の構成及び厚さ (22.4.2~6)(表22.4.2~6)  
図示

| 区分 | 種類                 | 厚さ(mm) |
|----|--------------------|--------|
| 表層 | 弾性舗装材              | 15~20  |
| 基層 | 再生粗粒度アスファルト混合物(13) | 30     |

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

② ブロック系舗装

○コンクリート平板舗装(歩行者用道路)の構成及び厚さ (22.8.2、3)  
※図示

| 種類                                | 寸法(mm)   | 厚さ(mm) | 目地材         | 備考                               |
|-----------------------------------|----------|--------|-------------|----------------------------------|
| ※普通平板(N)<br>・透水平板(P)<br>・保水性平板(M) | ※300角※90 | ・      | ※砂<br>・モルタル | 表面加工<br>・研ぎ出し<br>・洗い出し<br>・たたき出し |

敷砂層・砂  
・空線り砂

クッション材 ※砂 ・空線りモルタル

歩行者用道路に使用する普通平板は(※(再生材料を用いた舗装用ブロック))、  
透水平板は(※(透水性コンクリート))とする。  
仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート  
平板間の段差は3mm以内とする。

○インターロッキングブロック舗装(※)の構成及び厚さ ※図示

| 種類                                      | 部位     | 形状寸法 | 厚さ(mm) | 曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> ) | 横断面勾配  | 目地材 | 備考              |
|---|--------|------|--------|--------------------------|--------|-----|-----------------|
| ※普通ブロック(N)<br>・透水ブロック(P)<br>・保水性ブロック(M) | 車路、駐車場 | ・図示  | 80     | 5.0以上                    | 2%     | 砂   | 色影、表面加工<br>・標準品 |
| ※普通ブロック(N)<br>・透水ブロック(P)<br>・保水性ブロック(M) | 歩行者用道路 | ・図示  | 60     | 3.0以上                    | 1.5~2% | ・   | ・               |

歩行者用道路に使用する普通ブロックは(※(再生材料を用いた舗装用ブロック))、  
透水ブロックは(※(透水性コンクリート))とする。  
仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の  
段差は3mm以内とする。

| 区分     | 部位      | 厚さ(mm) | 種類                               |
|--------|---------|--------|----------------------------------|
| 敷砂層    | ・車路、駐車場 | 20     | 砂                                |
|        | ・歩行者用道路 | 30     | ・                                |
| フィルター層 |         | 100    | 川砂、海砂又は良質な山砂<br>(75μmふるい通過率9%以下) |

不織布(ジオテキスタイル)  
敷設位置 ・図示  
敷砂層と路床の間に敷設 ・フィルター層と路床の間に敷設  
単位面積質量 60g/m<sup>2</sup>程度  
厚さ(mm) 0.5~1.0  
引張強度 90N/5cm(10kgf/5cm)以上  
透水係数 1.5×10<sup>-2</sup> cm/sec以上  
舗装の割付(車路、駐車場)  
・ヘリンボンボンド(45°) ・ヘリンボンボンド(90°)  
仕上り面の平坦性 ・歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック  
間の段差は3mm以内とする。

・舗装舗装(歩行者用道路)の構成及び厚さ ・図示

| 種類    | 形状・寸法(mm) | 厚さ(mm) | 施工方法   | 基層                     | 基層の厚さ(mm)  |
|-------|-----------|--------|--------|------------------------|------------|
| ・花こう岩 | ・割石・図示    | ・      | ・うろこ張り | ・コンクリート版<br>・7.7/8t混合物 | ・70<br>・50 |

目地材 ・モルタル  
クッション材 ・砂 ・空線りモルタル  
仕上り面の平坦性 ・歩行に支障となる段差がないものとし、舗装間の段差は  
3mm以内とする。

※図示(石種、施工範囲) (22.8.2)(表22.8.1)  
・A種(施工範囲:図示) ・道路 )  
・B種(施工範囲:図示) ・建物周回他 )

路面標示用塗料は JIS K 5665 による。

| 種類     | 施工 | 適用  | 色  | 幅(mm) | 塗布厚さ(mm) |
|--------|----|-----|----|-------|----------|
| ・1種(※) | 常温 | 液状  | ※白 | ※150  | ※1.5     |
| ・2種(※) | 加熱 | ・   | ・  | ・100  | ・        |
| ※3種1号  | 薄敷 | 粉体状 | ・  | ・     | ・        |

③ 砂利敷き種別

④ 路面標示用塗料

⑤ 植栽地の確認等 (23.1.3)  
土壌の水素イオン濃度(pH)試験 ※行う ・行わない  
電気伝導度(EC)の試験 ※行う ・行わない

⑥ 植栽基礎の整備 (23.2.2~4)

| 種類     | 工法                       | 有効土層の厚さ(cm)   | 整備範囲         | 土壌改良材           |
|--------|--------------------------|---|--------------|-----------------|
| ・樹木    | ・A種<br>・B種<br>・C種<br>・D種 | 樹高12m以上<br>(・100・120・150)<br>樹高7m以上~12m未満<br>(・80・100)<br>樹高3m以上~7m未満<br>(・60・80)<br>樹高3m未満<br>(・60・60) ※図示 | ・養根部分<br>※図示 | ※適用する<br>・適用しない |
| ※芝、地被類 | ※D種                      | ※図示   | ・養根部分<br>※図示 | ※適用する<br>・適用しない |

植栽基礎の排水設備 ・設ける(※図示) ・設けない

植込み用土 ・適用する(・現場発土の良質土 ・寄土 ※良質購入土)  
・適用しない

土壌改良材 ※適用する(図示) ・適用しない  
・パーク地肥(※)  
施工箇所 ・植栽範囲 ※図示  
使用量 植栽基礎面積1㎡あたり(・50L) )  
・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) (※)  
施工箇所 ・植栽範囲 ※図示  
使用量 植栽基礎面積1㎡あたり(・10L) )  
材料  
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に  
適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。

⑦ 樹木 (23.3.2)  
樹種、寸法、株立数等 ※図示

④ 支柱  
支柱材 ・丸太(間伐材) (※) ・真竹 ※図示 (23.3.2、3)  
防虫処理方法 ※加圧式防虫処理丸太材  
形式 ※図示

⑤ 幹巻き用材料 (23.3.2)  
材料 ※幹巻きテープ ・わら及びこも

6 芝 (23.4.2、3)  
種類 ・コウライシバ ・ノシバ  
芝張り工法  
平地 ・目地張り ・べた張り  
斜面 ・目地張り ・べた張り

7 収付けは覆 (23.4.2)  
種子の種類 発芽率 種子の量(g/m<sup>2</sup>) 備考  
・洋芝類(採取後2年以内) ・発芽率90%以上  
・

⑧ 地被類 (23.4.2)  
樹種 コンテナ性 単位面積当たりのコンテナ数 芽立数  
※図示

⑨ 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4、6)(23.4.7)  
新植樹木(芝張り、収付けは覆及び地被類を含む)の枯補償の期間  
※引渡しの日から1年 ・無し  
移植樹木の枯補償を行う期間  
※引渡しの日から1年 ・無し

10 塵上緑化 (23.5.2~4)  
植栽基盤及び材料  
・塵上緑化システム  
土壌層の厚さ ・図示  
排水層 ・軽質骨材(層の厚さ) ・板状成型品  
植込み用土 ・改良土 ・人工軽質土  
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ・図示  
剪切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・図示  
・塵上緑化システム  
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ・図示  
剪切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・図示

工法  
植栽基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
支柱 ・設置する(形式・図示)  
かん水装置 ・設置する(種類)

⑩ ① 疑義  
② 建築材料等  
③ 関係書類  
④ 工程表  
⑤ 色柄  
⑥ 規格品等  
⑦ 協力業者の選定  
⑧ 養生  
⑨ 諸官庁届出  
⑩ 写真  
11 電気保安技術者  
⑫ 建設機械  
⑬ 工事用看板  
⑭ 障害物の処理  
⑮ 安全対策  
⑯ その他  
⑰ 既存杭

本工事の設計図書において疑義が生じた場合は、監督員と協議の上決定する。  
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承認を受ける。  
また、グリーン購入法調達基準適合商品を優先的に採用し、工事完了後に品名・使用数量等について文書にて報告すること。  
なお、資材の購入に当たっては、市内業者を優先的に配慮するよう努めるものとする。

関係書類は、八潮市の様式とする。部数については、協議の上、決定する。

着工に先立ち、全体工程表及び施工計画書を作成し、監督員の承認を受けてから施工する。

色柄は、監督員の承認を受けてから施工する。

規格品(JIS・JAS)がある材料は優先的に使用する。なお、規格品の改訂及び変更が生じた場合は、監督員と協議する。

協力業者は、市内業者を優先的に選定するよう努めるものとする。

既存部分で汚染又は損傷の恐れのあるものは、適切な方法で養生を行う。損傷を与えた場合は速やかに監督員に報告すると共に、受注者の責任において、復旧工事を行うこと。

本工事に係る関係各機関への申請、検査、総合調整等は本工事に含むものとする。

工程写真 着工前及び工程順に撮影し、整理後提出する。  
1部(カラーサービス版)

・適用する

原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。なお、建設機械の借入に当たっては、市内業者を優先的に配慮するよう努めるものとする。

寸法(縦×横)1400×1100程度 色及び字体等は、十分協議の上、作成する。

工事の施工上、撤去・移動を要する軽微なものは、本工事に含む。  
本工事においては、施設利用者等に対する安全に万全を期するものとし、安全上必要と思われるもの及び監督員の指示があったものは、速やかに対処すること。

本工事においては、施設利用者に対する安全に万全を期するものとし、安全上必要と思われるもの及び監督員の指示があったものは、速やかに対処すること。  
また、工事車両の出入口については、必要に応じ交通誘導員を配置し、車両を誘導するものとする。

施設運営に支障の無いよう、施設管理者および監督員と十分に打合せを行うこと。  
近隣住民、近隣建物、工事物、通行人に対し損害を与えた時は、速やかに応急手当、復旧工事を受注者の負担で行うこと。  
発注者が実施する住民説明会の資料(工事概要、仮設計画、安全対策、工程表等)を作成するとともに、説明会へ出席し、説明を行うこと。

1) 引抜きは、杭と地盤の摩擦を減らすなど、適切な方法で引抜き作業を行う。引抜きには地盤の安定を維持する為、流動化処理土を充填する。  
2) 破砕する場合は、振動に注意して作業を行う。破砕時には地盤の安定を維持する為、山砂等を充填する。